令和４年度（2022年度）岩手県県民経済計算の概要（視覚障がい者向け・Word版）

令和７年３月28日に公表した「令和４年度岩手県県民経済計算の概要」を、全盲など視覚に障がいをお持ちの方がご覧になれるよう、音声ソフトで読み取りやすいように編集しました。

なお、表番号や内容の一部で、３月28日に公表した内容と異なる部分があります。

本書の特徴（令和７年３月28日に公表したPDF版との違い）

１　本文はWord、表はExcelとしたほか、音声ソフトで読みやすくするため本文を全文左寄せにしています。

２　フォントをゴシック体12ポイント、白抜き文字に統一しています。

３　グラフは一切掲載せず、すべて表にしています。

４　Word本文に表の住所（シート名、範囲）を掲載しています。

作成：岩手県ふるさと振興部調査統計課

利用上の注意

１　県民経済計算は、県内又は県民の経済活動の結果を「生産」「分配」「支出」の三面からとらえ、県経済の規模や構造、県民の所得水準などを明らかにするものです。

この概要は、令和４年度（2022年度）岩手県県民経済計算の主要な部分を抜粋したものです。

２　令和３年度以前の計数については、推計方法の変更や新規統計結果の利用などにより遡及改定しており、過去の公表値と異なる場合があります。

令和３年度以前の数値を利用する場合には本書掲載のものを利用してください。

なお、県民経済計算では、計数の遡及改定を、推計に用いる関係資料の入手が可能な平成23年度以降としているため、推計対象期間は平成23年度から令和４年度となります。

３　実質値は、平成27暦年を参照年（デフレーター＝100となる年）とする連鎖方式により算定したものです。

４　国の計数については、令和４年度国民経済計算年次推計（令和５年12月公表）を掲載しています。

５　一人当たり県民所得は、個人に分配される雇用者報酬などに加え、民間法人企業所得や公的企業所得、一般政府の財産所得も含まれているため、個人の所得水準を表すものではありません。

６　本書の記号の用法は、次のとおりです。

「0.0」表章単位に満たないもの

「-」負数

「--」該当数字がないもの

７　統計表において、四捨五入の関係により、合計項目の計数と各構成項目の計数の合計値が一致しない場合があります。

また、連鎖方式により推計を行った実質値については、加法整合性が成立しないため、総数と内訳は一致しません。

８　統計表中の増減額、対前年度増加率、構成比、増加寄与度は、千円単位の実数をもとに算出していますので、統計表の数値（100万円単位）で算出したものと一致しない場合があります。

９　本書の内容についてのお問い合わせにつきましては、下記まで御連絡ください。

岩手県ふるさと振興部調査統計課　調査分析担当

電話　019-629-5301（直通）

電話　019-651-3111（代表）　内線5301

はじめに

本県の県内総生産は、建設業などが減少したものの、製造業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業などが増加したことにより、県内総生産は名目、実質共に４年ぶりの増加となった。

また、一人当たり県民所得は、２年連続の増加となった。

・県内総生産は、名目 ４兆７，９７１億円、　実質 ４兆６，８８９億円

・経済成長率は、名目 ２.５％、　実質 １.９％

・一人当たり県民所得は、２７０万９千円

１　日本経済及び本県経済の概況

令和４年度の日本経済は、ウィズコロナの下で、徐々に経済社会活動の正常化が進んだことにより緩やかに持ち直した一方で、ロシアのウクライナ侵攻により国内物価が上昇し、家計や企業活動に影響を与えた。

こうした下で国内総生産は、名目では前年度比2.3％増、実質では1.5％増と、２年連続で増加した。

本県経済は、製造業、卸売・小売業、宿泊・飲食サ－ビス業の総生産が増加したことなどにより、名目では前年度比2.5％増、実質では1.9％増と共に４年ぶりの増加となった。

（表１）本県経済成長率の推移

シート名：表１

表の範囲：A2からL4まで

２　県民経済計算の概要

(1) 概要

令和４年度の本県の経済規模を示す県内総生産は、名目で4兆7,971億円、実質で4兆6,889億円となった。

また、県民所得は 3兆1,977億円となり、一人当たり県民所得は270万9千円となった。（表２）県民経済計算の概要

シート名：表２

表の範囲：A2からE13まで

(2) 本県と国の経済成長率の推移

（表３）経済成長率（名目）の推移

シート名：表３

表の範囲：A2からL4まで

（表４）経済成長率（実質）の推移

シート名：表４

表の範囲：A2からL4まで

(3) 県内総生産と全国シェアの推移

県内総生産と全国シェアの推移をみると、令和４年度の県内総生産(名目)は4兆7,971億円と前年度から2.5％増加した。

全国シェアは前年度と同水準の0.85％となった。

（表５）県内総生産と全国シェアの推移

シート名：表５

表の範囲：A2からM5まで

(4) 主要経済活動別増加寄与度

令和４年度の総生産の経済成長率に対する主要経済活動別の寄与度をみると、名目では卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業など、実質では製造業、宿泊・飲食サービス業などの増加への寄与度が高くなっている。

また、建設業及び電気・ガス・水道・廃棄物処理業は、名目、実質とも減少に寄与している。（表６）県内総生産に対する主要経済活動別増加寄与度

シート名：表６

表の範囲：A2からC11まで

(5) 一人当たり県民所得と所得水準の推移

一人当たり県民所得の推移をみると、令和４年度は前年度比1.4％増の270万9千円となり、２年連続の増加となった。

なお、一人当たり国民所得は前年度比3.8％増の327万4千円となっており、所得水準(国＝100)は前年度と比べ2.0ポイント低下し82.7となった。

（表７）一人当たり県民所得と国民所得の推移

シート名：表７

表の範囲：A2からM7まで

３　主要系列の概要

(1) 県内総生産

ア　名目

令和４年度の県内総生産（名目）は、前年度比2.5％増と４年ぶりの増加となった。

第１次産業は、水産業、林業が増加したことなどにより、前年度比6.3％増と２年ぶりの増加となった。

第２次産業は、製造業、鉱業が増加したことなどにより、前年度比0.2％増と４年ぶりの増加となった。

第３次産業は、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業が増加したことなどにより、前年度比3.0％増と２年連続の増加となった。

（表８）産業別県内総生産（名目）と対前年度増加率の推移

シート名：表８

表の範囲：A2からM12まで

（表９）産業別県内総生産（名目）と構成比の推移

シート名：表９

表の範囲：A2からM7まで

（表10）県内総生産（名目）に対する主要経済活動別増加寄与度の推移

シート名：表10

表の範囲：A2からL10まで

イ　実質

令和４年度の県内総生産(実質)は、前年度比1.9％増と４年ぶりの増加となった。

主要経済活動別の増加寄与度をみると、製造業、宿泊・飲食サービス業などが増加に寄与した。

また、県内総生産のインプリシット・デフレーターは、102.3となった。

（表11）産業別県内総生産（実質）と対前年度増加率の推移

シート名：表11

表の範囲：A2からM4まで

（表12）県内総生産（実質）に対する主要経済活動別増加寄与度の推移

シート名：表12

表の範囲：A2からL10まで

（表13）県内総生産インプリシット・デフレーターの推移

シート名：表13

表の範囲：A2からM3まで

(※)インプリシット・デフレーター

県内総生産のデフレーターは、総生産の構成項目（農業、建設業など）ごとに実質値を求めたのち、（県内総生産の名目値）／（構成項目ごとの実質値の合計）として逆算によって求められたものである。

このように事後的に求められたデフレーターを、インプリシット・デフレーターという。

(2) 県民所得の分配

令和４年度の県民所得は、前年度比0.0％増と４年ぶりの増加となった。

県民雇用者報酬は、賃金・俸給が増加したことなどにより、前年度比2.1％増と２年連続の増加となった。

財産所得は、家計の配当（受取）や受取利子が減少したことなどにより、前年度比2.4％減と５年ぶりの減少となった。

企業所得は、民間法人企業の所得が減少したことなどにより、前年度比5.5％減と５年連続の減少となった。

（表14）県民所得の分配と対前年度増加率の推移

シート名：表14

表の範囲：A2からM10まで

（表15）県民所得の分配と項目別構成比の推移

シート名：表15

表の範囲：A2からM6まで

（表16）県民所得の分配に対する項目別増加寄与度の推移

シート名：表16

表の範囲：A2からL6まで

(3) 県民総生産（支出側）

令和４年度の県内総生産（支出側、名目）は、前年度比2.5％増と４年ぶりの増加となった。

民間最終消費支出は、家計における外食・宿泊サービスの増加などにより、前年度比5.2％増と２年連続の増加となった。

地方政府等最終消費支出は、前年度比2.7％増と４年連続の増加となった。

総資本形成は、民間総固定資本形成の増加などにより、前年度比5.8％増と５年ぶりの増加となった。

県内総生産（支出側、名目）を需要項目別にみると、民間需要は２年連続の増加、公的需要は２年連続の減少となった。

（表17）県内総生産（支出側、名目）と対前年度増加率の推移

シート名：表17

表の範囲：A2からM12まで

（表18）県内総生産（支出側、名目）の構成比の推移

シート名：表18

表の範囲：A2からM7まで

（表19）県内総生産（支出側、名目）に対する項目別増加寄与度の推移

シート名：表19

表の範囲：A2からL8まで

（表20）県内総生産（支出側、名目）に対する需要項目別増加寄与度の推移

シート名：表20

表の範囲：A2からL6まで

４　統計表

(1) 経済活動別県内総生産（名目）

（表21）経済活動別県内総生産（名目）

シート名：表21

表の範囲：A2からJ48まで

(2) 経済活動別県内総生産（実質）

（表22）経済活動別県内総生産（実質）

シート名：表22

表の範囲：A2からH49まで

(3) 県民所得の分配

（表23）県民所得の分配

シート名：表23

表の範囲：A2からJ35まで

(4) 県内総生産（支出側、名目）

（表24）県内総生産（支出側、名目）

シート名：表24

表の範囲：A2からJ38まで

(5) 県内総生産（支出側、実質：連鎖方式）

（表25）県内総生産（支出側、実質：連鎖方式）

シート名：表25

表の範囲：A2からJ33まで

５　参考資料

(1) 令和４年度岩手県経済を中心とした出来事

（表26）主な出来事

シート名：表26

表の範囲：A2からC14まで

(2) 県民経済計算の概念

付加価値（県内総生産）＝県内産出額－中間投入

正味の付加価値（県内純生産）＝付加価値（県内総生産）－固定資本減耗